

# 大村競艇場ものがたり

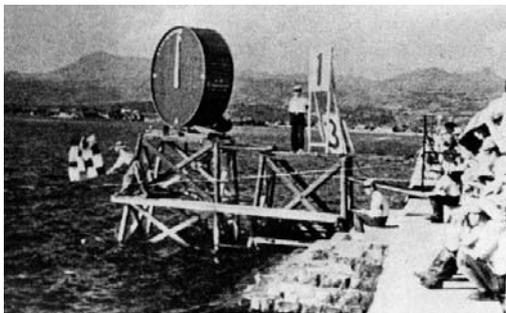
昭和27年4月6日、日本で初めて競艇が開催された大村競艇場。  
その開催には多くの苦難があり、その苦難に立ち向かった者たちの熱いドラマがあります。



ファンスタンド



競艇場誕生



開催当初の大時計とスタート風景



編隊訓練中の様子

競艇発祥の地は大村市です。なぜ最初の開催が大都市の競艇場ではなく、当大村市だったのでしょうか？

実は、当時の運輸省はじめ関係機関では、初開催こそ、今後の競艇の命運をかけるものとして、東京や大阪など大都市での開催が有力とされてきました。それらを跳ねのけて大村市が競艇発祥の地となったのは、地元大村関係者の初開催にかける一丸となった熱意と、迅速な取り組みによるものでした。

モーターボート競走法が公布されたのは昭和26年6月。大村市は公布と同時に競走場設置事務所を開設し、1か月後の7月には競艇場建設の工事に着手しました。そして、わずか4か月後の10月末には施設の完成に至っています。

現在、標準化されている直径2mの出走用大時計は、当時、大手時計メーカーに製作を依頼したところ75cm以上のものは製作した実績がなく、金額についても破格の100万円はかかるとの回答。しかし、地元大村の鉄工所（松永鉄工所）が名乗りを上げ、日本屈指の時計メーカーの見積りの

20分の1の価格で完成させました。

また、コース旋回時の標となるターンマークも、大村によって発案されました。前例のない競艇のため、醤油の四斗樽や自動車のチューブを使ったり、様々な実験を行った結果、タイヤの上えんすいに円錐型の鉄板を乗せるものに落ち着きました。コース設定も当時は何の規定もなく、円形・三角・四角のコースなどを職員が日夜、試行錯誤のうえ、現在の2点マークに決定しました。

この様に、現在の競艇で当たり前となっている大時計、2点マークのコース、ターンマークをはじめ、その他諸々の制度などの多くは、大村の関係者が試行錯誤の末に生み出したものがスタンダードとなっています。

このような苦難を乗り越え、現在の競艇の土台を作ったからこそ、大村競艇場は「競艇初開催の地」ではなく「競艇発祥の地」と呼ばれているのです。

参考文献・●競艇沿革史

●モーターボート競走年史(30、40、50年史)

●日本財団ホームページ

●2008年BOATBOYS月号

スーパースター  
大集合!!

- 松井 繁(大阪) 
-  魚谷 智之(兵庫)
- 原田 幸哉(愛知) 
-  上瀧 和則(佐賀)
- 今村 豊(山口) 
-  山崎 智也(群馬)
- 服部 幸男(静岡) 
-  瓜生 正義(福岡)
- 田中信一郎(大阪) 
-  菊地 孝平(静岡)

大村MB大賞は  
こんな豪華なメンバーだぞ!!



現在の競艇界の  
最上位クラスの選手が  
大村競艇場に  
スラリと集結する!!

大村競艇場 GI

# MB大賞

競艇マクール賞

2/19木.20金.21土.22日.23月.24火

レース情報

~2月3日 ケイズカップ  
11日~15日 公営レーシングプレス杯  
19日~24日 GI MB大賞

場外発売

~2月3日 GI九州地区選手権(芦屋)  
4日~5日 GI四国地区選手権(鳴門)  
4日~8日 GI東海地区選手権(津)  
25日~3月2日 GI平和島周年(平和島)

リレーナイター

~2月2日 蒲郡ナイター  
5日~8日 蒲郡ナイター  
11日~15日 蒲郡ナイター

ターンマーク坊やの  
巨大ふわふわ

2/1日.11日.14日.15日.21日.22日



無料!!

開門~16:00頃まで  
大村競艇場イベント広場

その他  
イベント  
もりだくさん!!

※詳しくは  
お問い合わせ  
ください

すべてのお問い合わせ先はこちら



大村市競艇企業局 営業サービス課

Tel.0957-54-4111

〒856-0834 長崎県大村市玖島1-15-1  
http://www.omurakuyotei.jp



キャラクターショー

①12:10頃~ ②14:45頃~

2/21土

あなたも競艇選手に  
なってみませんか?

15歳以上30歳未満の男女

(昭和54年10月2日~平成6年4月1日迄に出生した人)

■身長172cm以下 ■体重:男子47kg以上55kg以下 女子42kg以上50kg以上  
■視力:裸眼で两眼とも0.8以上 ■血圧:収縮期150mm以下、拡張期90mm以下

応募締切  
3/16月  
まで

申込み・問合せ先

日本モーターボート競走会 大村支部  
☎52-6194